

まさに断腸の記録 —厚労省人口動態調査— なぜ公表されないのか？

見かけの死亡率—2011年以降異常増加継続

粗死亡率—異常増加死亡数が10万～27万

年令調整死亡率

異常増加と異常減少が相殺し合って少なく見える

実際の死亡率異常を示す**性別年齢別死亡率**

青壮年層 57万人の死亡率の異常減少

幼年・老齢層 63万人の異常増加

見かけの異常増加 は7万人

第66回つなごう命の会定例学習会 ICRPを科学的に批判

科学と人権に基づく
防護体系を打ち立てよう

2025年1月17日（金）
矢ヶ崎克馬

つなごう命の会

放射能公害被災者に人権の光を！

2011年11月に会として結成（活動は同年3月から始めている）

行政や医療は どのように市民を守ったか？ 守っていない⇒被害を隠し通す

行政

法律 (1mSv/年) を守らず **20mSv/年**

高汚染地帯に住民を住み続けさせた⇒防護対策せず

法律 (原子力災害特措法) を守らず

合同対策協議会を設置せず 私的機関をたち上げた

原災避難訓練で実施していた**甲状腺がん防止対策**

安定ヨウ素剤を配布しなかった (根本に被災者の防護無し)

食べて応援 で 内部被曝を強制した (根本に被災者の防護無し)

100Bq/kg 以下は安全、 100mSv以下は安全

風評被害払拭⇒食料選択の自由を否定した (根本に被災者の防護無し)

医療

放射能被曝による健康災害を否定

笑っていれば放射能は・・

甲状腺がんセカンドオピニオンは遠慮するように

「被曝防護指針」無し⇒ 診療現場で市民を守らなかった

多くの病院で病院食に「福島米」を指定 **内部被曝防護の認識無し**

患者に毒を盛る 行為

(根本に被災者の防護無し)

事故後の死亡状況などを確認し、
行政や医療の
放射線被曝を切り捨てる姿を見て、
その元であるICRP体系の
科学としての誤魔化し(誤り)を
市民の皆さんなら誰でもが
分かるようにする

ICRPを科学の目で批判する



科学・人権に基づく被曝防護を
確立し被曝被害実体を明るみに！

事故後 健康被害の実態

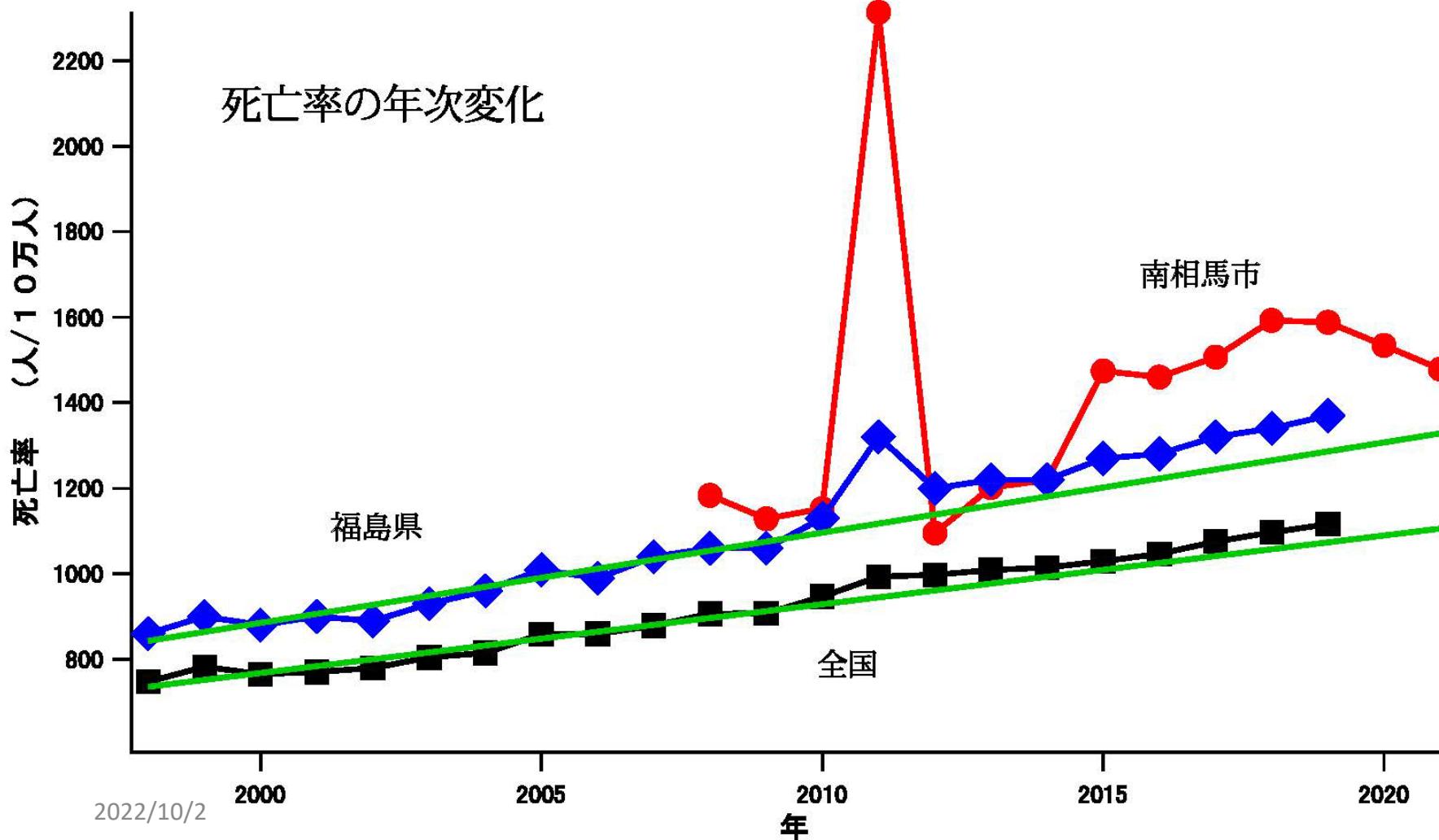
厚労省
人口動態調査

矢ヶ崎克馬、小柴信子

粗死亡率 (全死亡数/全人口)

2011年以降死亡増加

↔震災津波犠牲者 (警視庁) : 2万2千人



年齢調整死亡率（1985年基準）

死亡異常增加
疾病

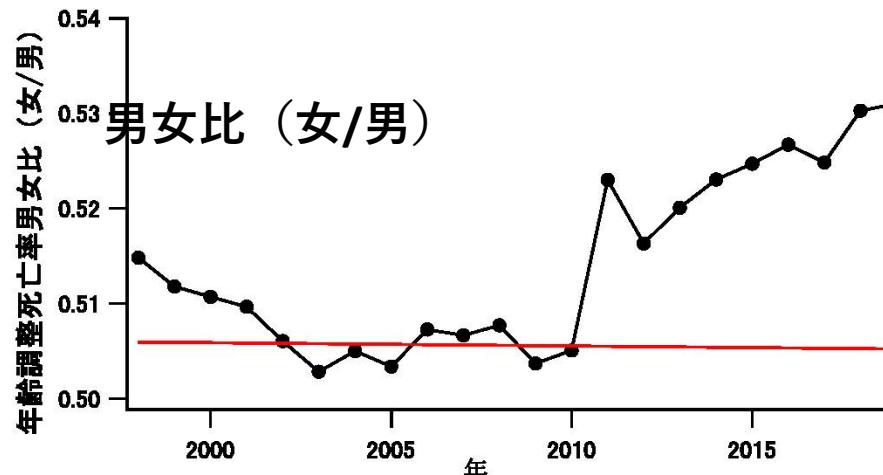
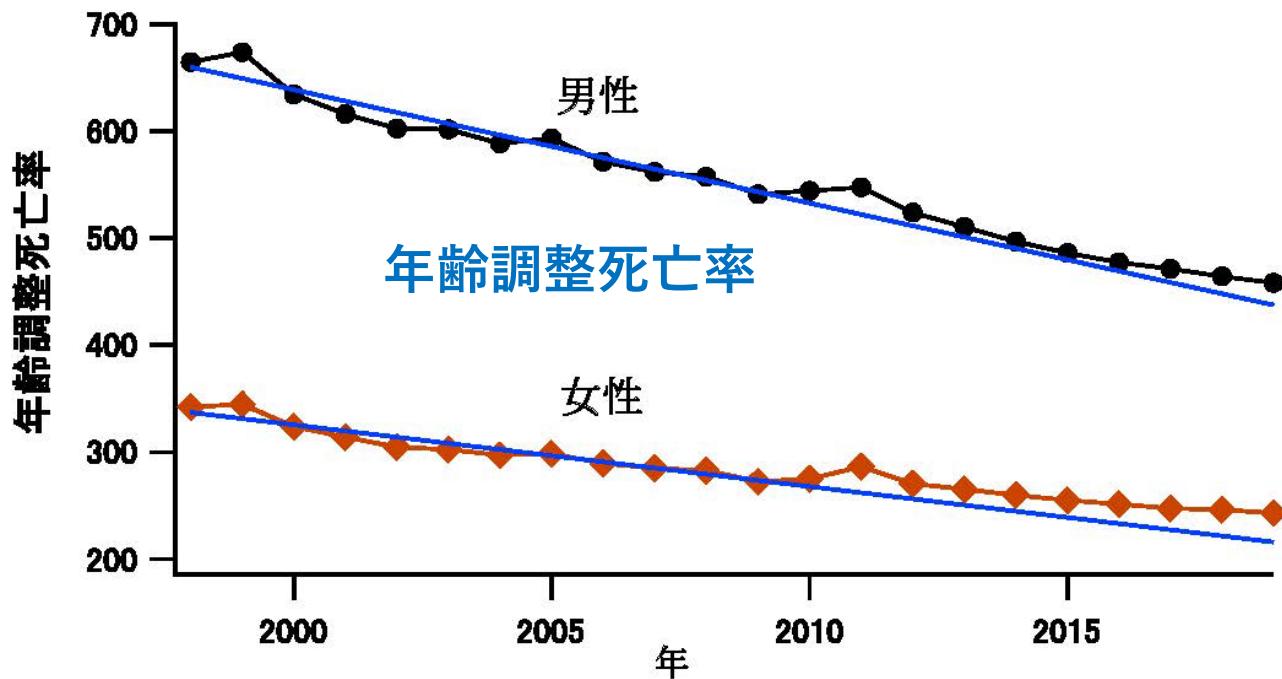
（2011以降）

死亡総数、悪疾
性腫瘍、心疾
患除高血圧、
脳血管疾患、
老衰、喘息

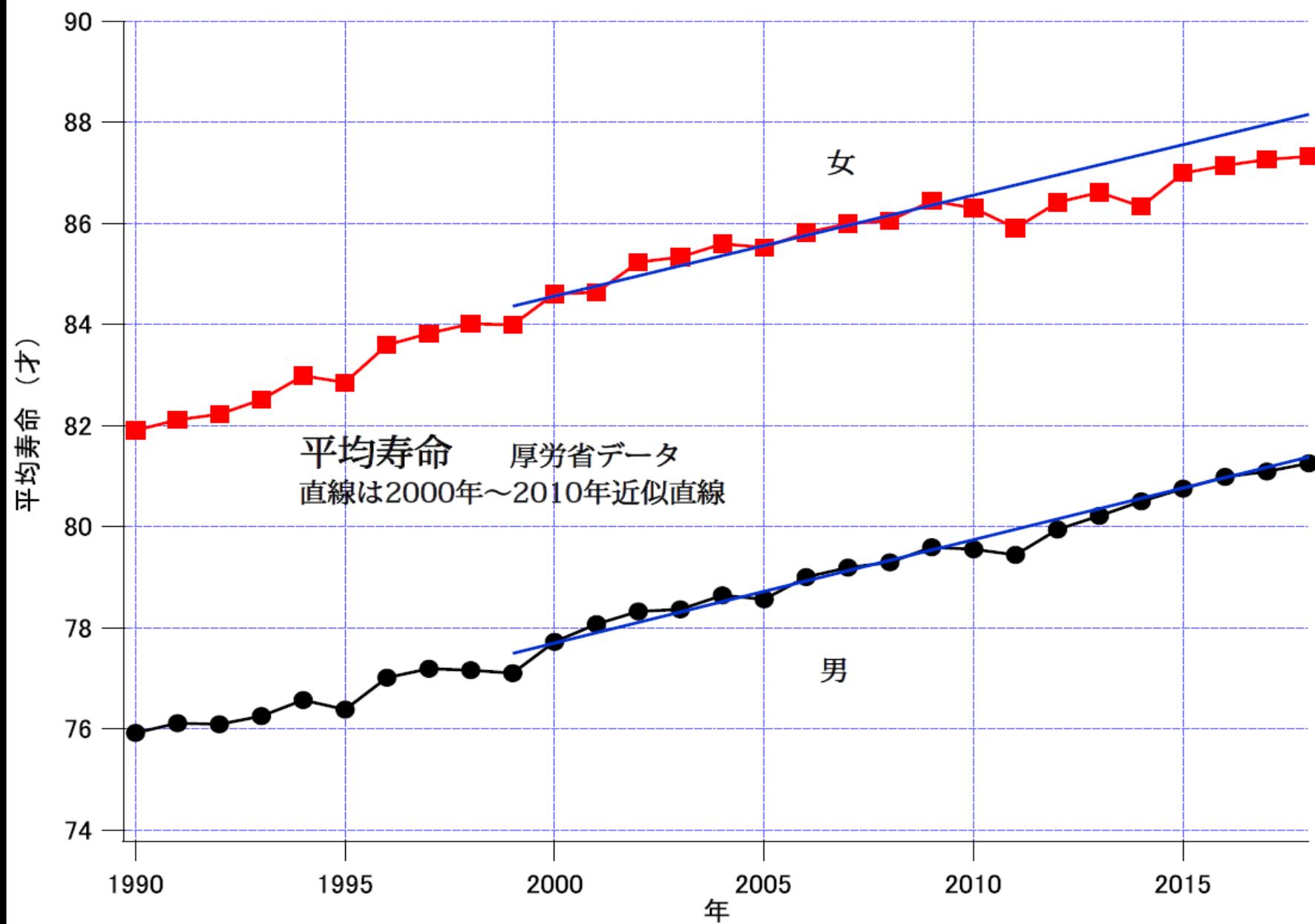
（2014以降）

結核、（交通事故）

（2017年以
降）肝疾患、
気管支炎、肺
気腫、高血圧



平均寿命 (ゼロ才児の平均余命)

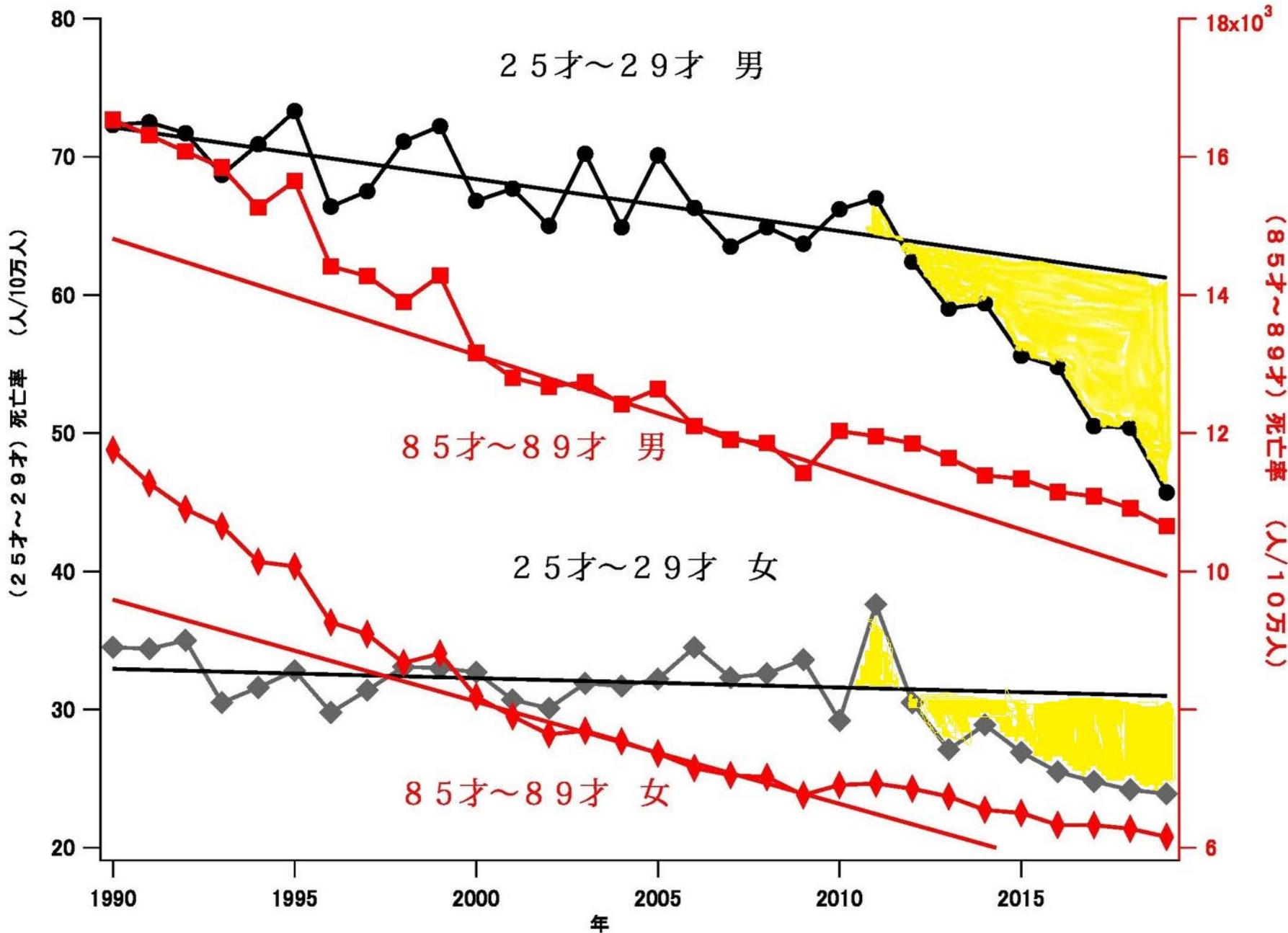


粗死亡率・年令調整死亡率
(日本全体の死亡率) は
実は見かけの死亡率であった。

性別年齢別死亡率では
異常増加と異常減少の
両者があることが判明

粗死亡率・年令調整死亡率では
増減が相殺し合って少なく見えている

性別年齢別死亡率



死亡率の異常増加と異常減少

(第2列男と第3列女 第1列は女/男)

粗死亡率から計算した9年間の死亡者増加数 約7万人

2010年以前のトレンドから予測される死亡レベル

死亡の異常増加

見かけ

7万人

内実

63万人

阪神淡路大震災の100倍規模

影響を受けた人の総数は120万人

粗死亡率から算出した9年間の死亡者増加数 約7万人

2010年以前のトレンドから予測される死亡レベル

長寿化人数
(死亡率減少総数)

約56万人

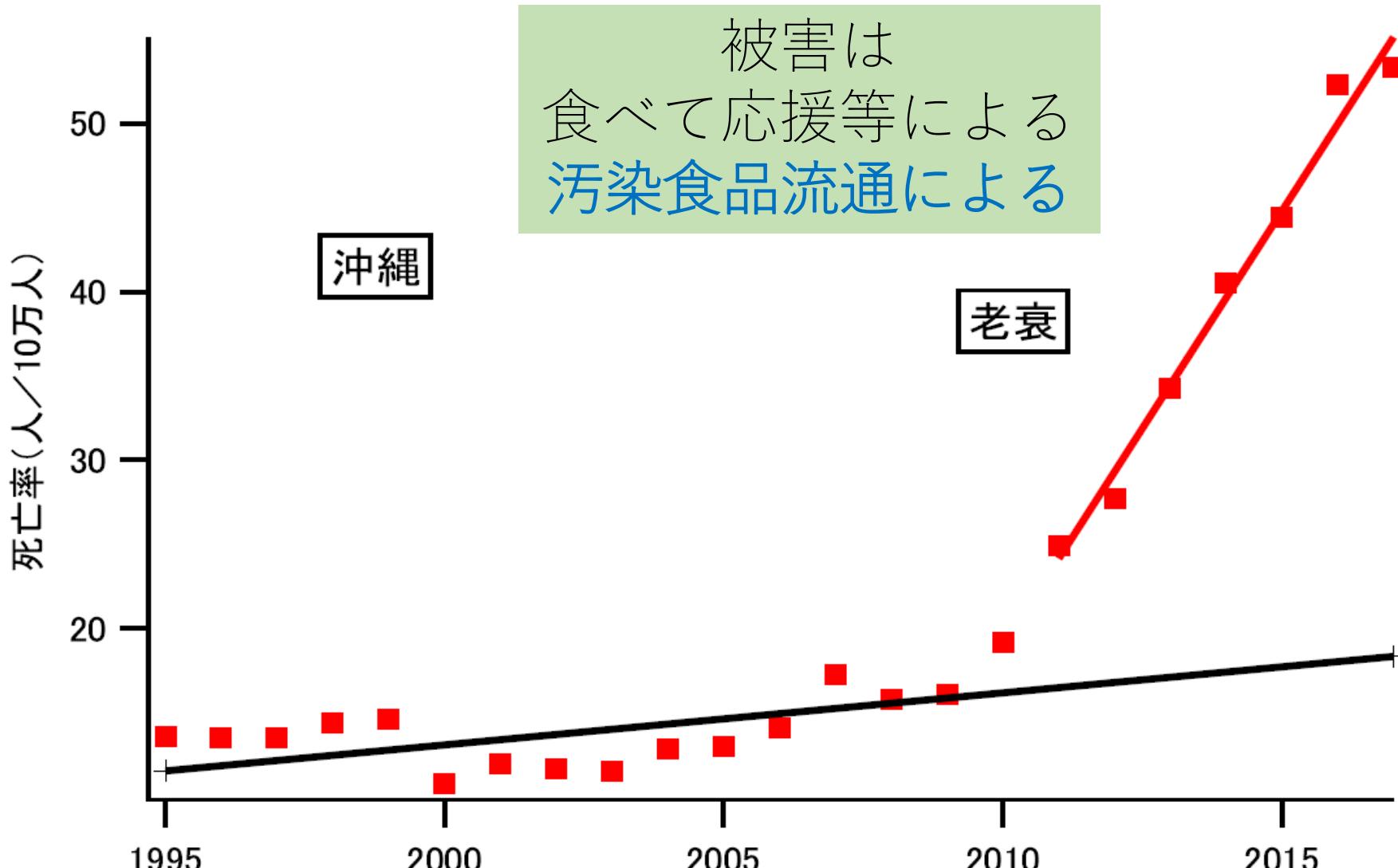
異常増加
死亡者数

約63万人

沖縄における老衰死亡率の経年変化

厚労省人口動態調査

データ整理は小柴信子氏による (以下同様)



内部被曝の原因のひとつ

福島県産米（2012年産）

都道府県 年間消費量

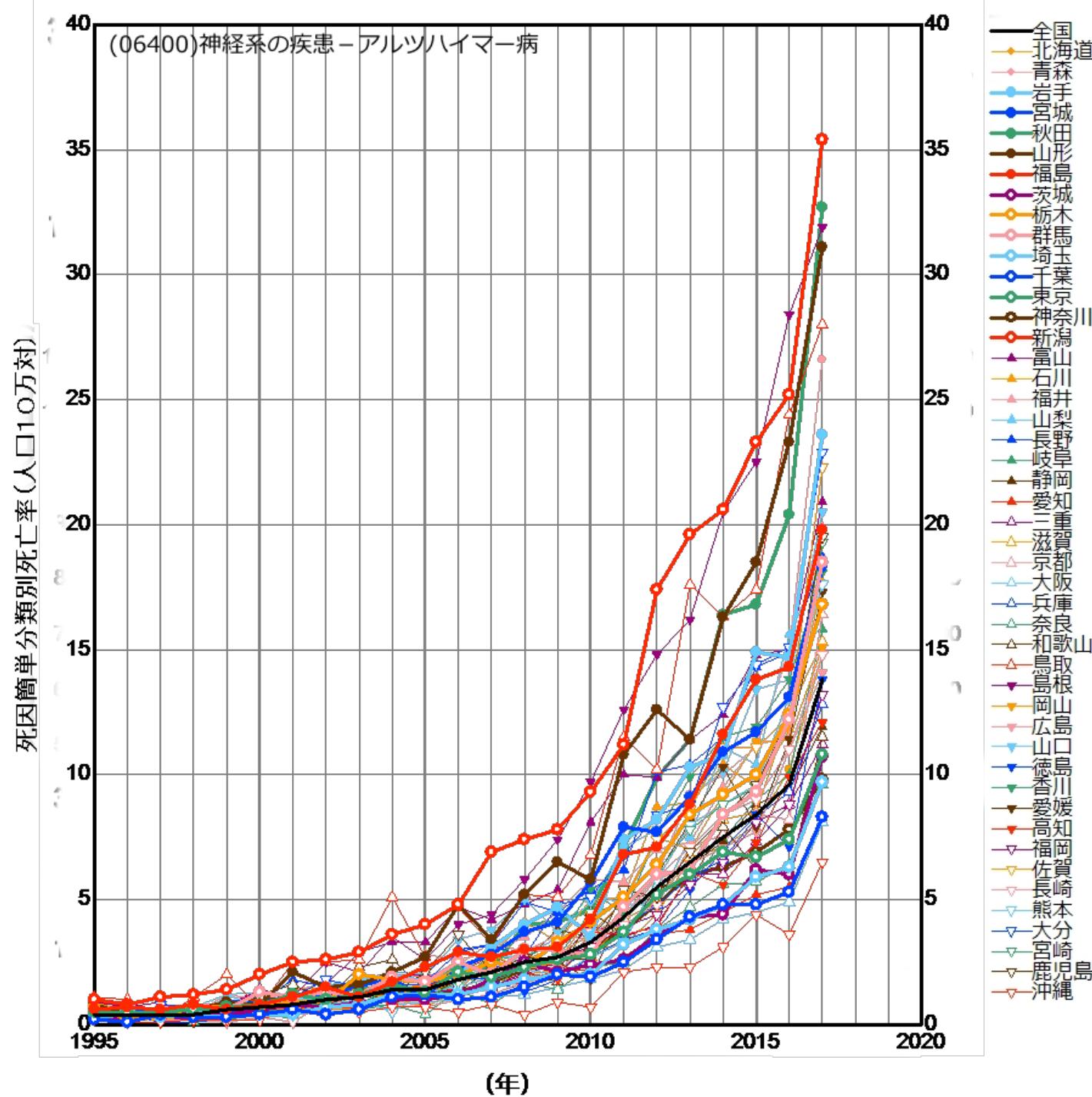
順位	トン	人口（千人）	消費量／人
1.	46,097	13,515	3.41kg
2.	15,081	5,534	2.73
3.	3,300	1,433	2.30
4.	2,741	8,839	0.31

おそらく、家庭等で食された率は沖縄が日本一
うつくしま・ちゅらしま交流宣言（2003）
「食べて応援」大キャンペーン（2011）

被害は全都道府県に及び

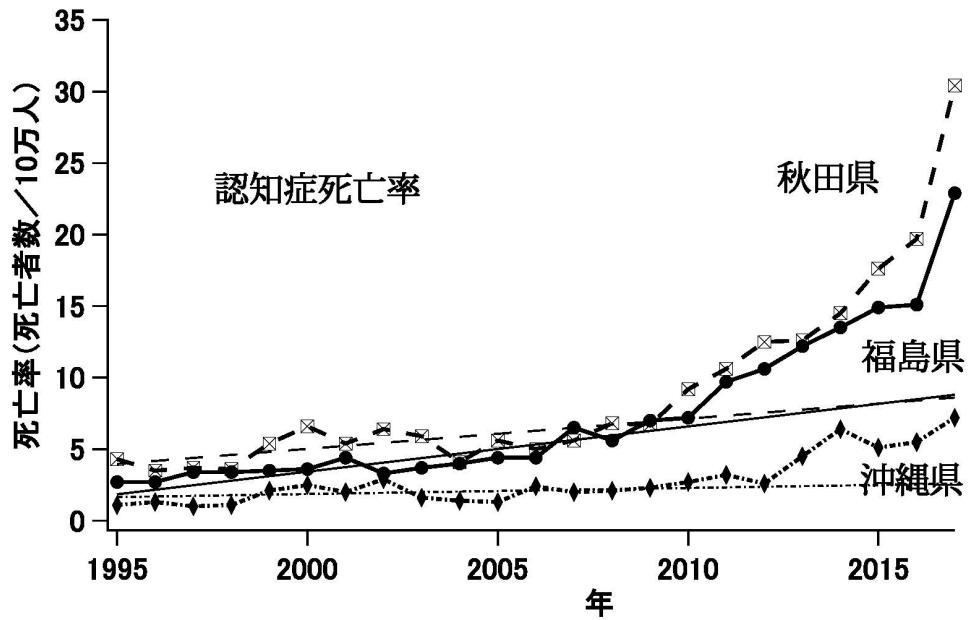
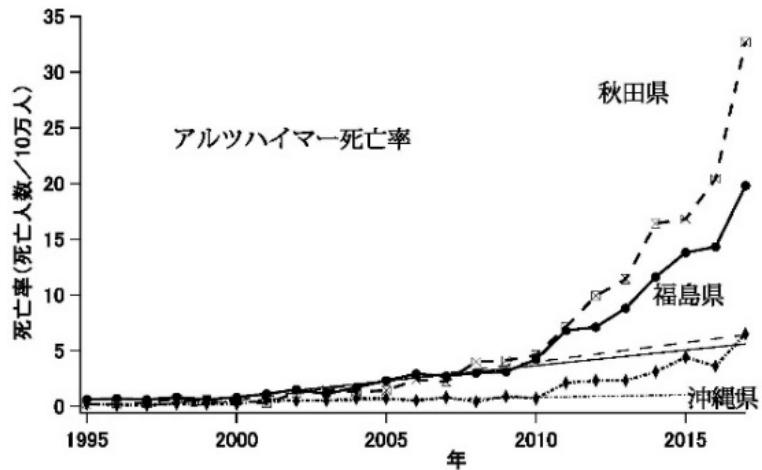
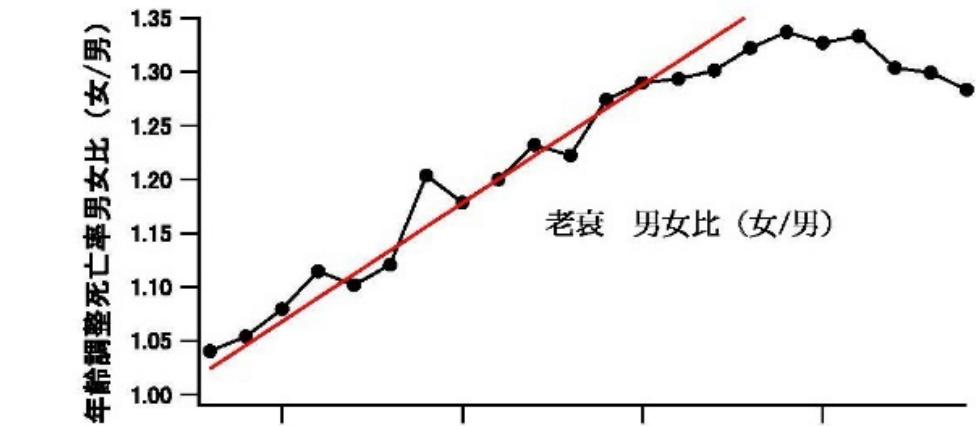
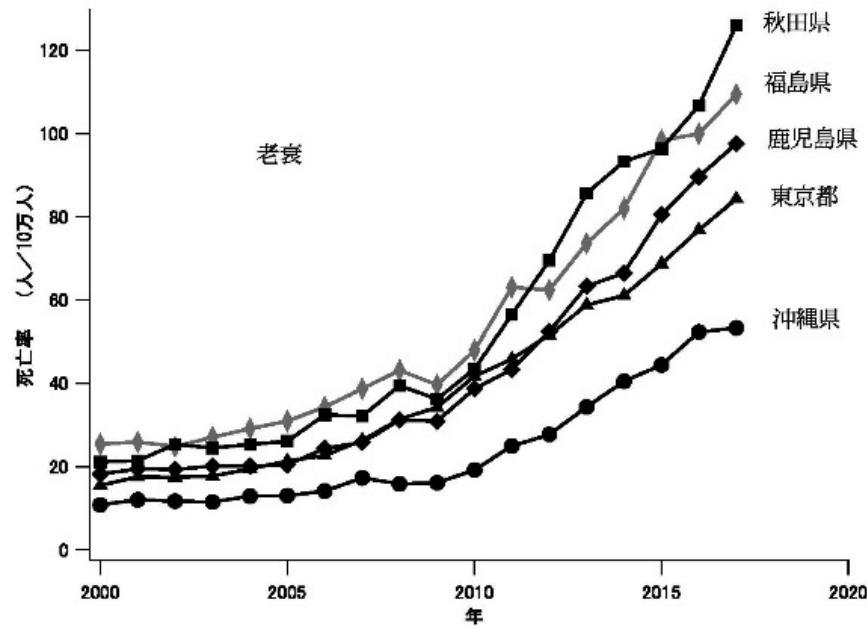
子どもたちにも
深刻な影響が出ている

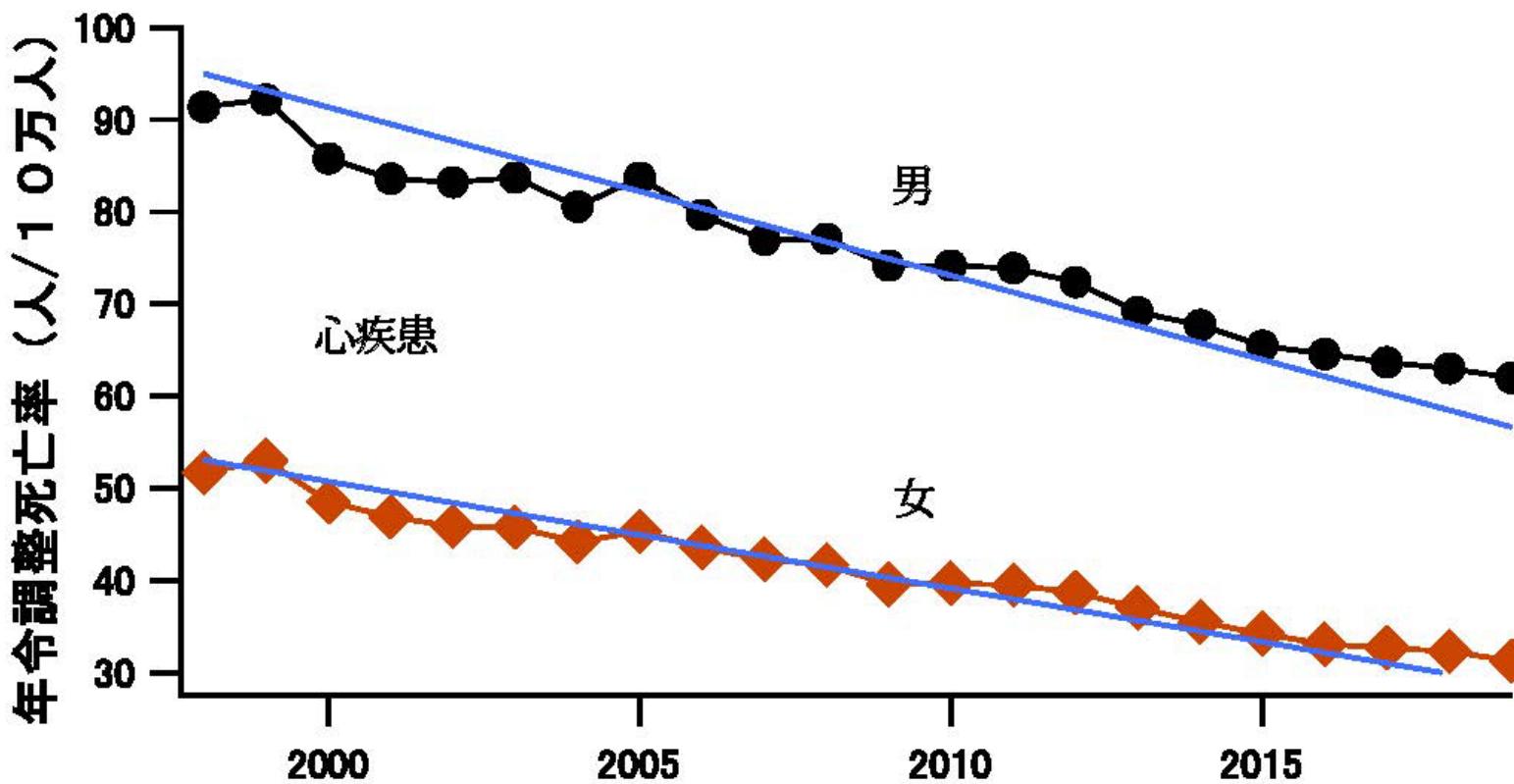
アルツハイマー死亡者



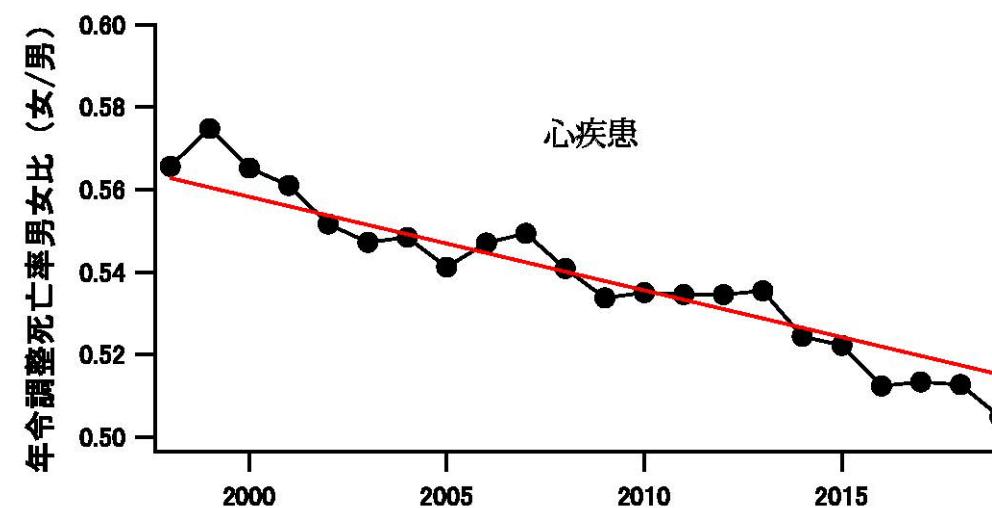
①老衰死とその男女比 (女/男)

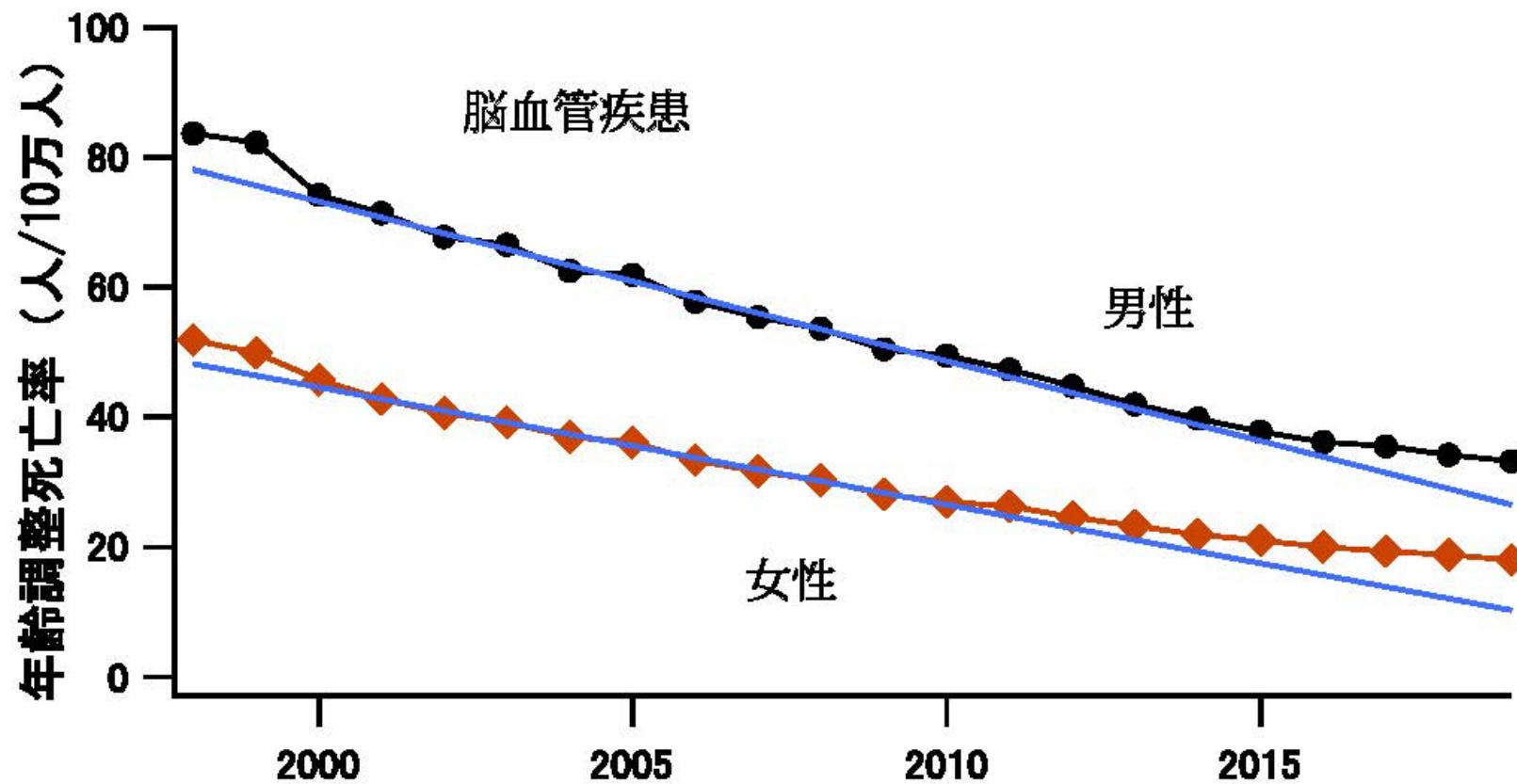
②アルツハイマー③認知症死



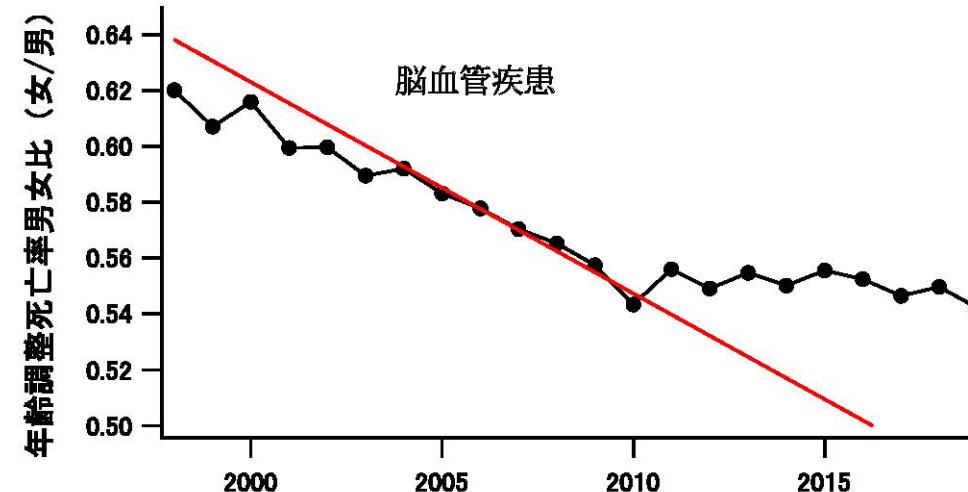


心疾患

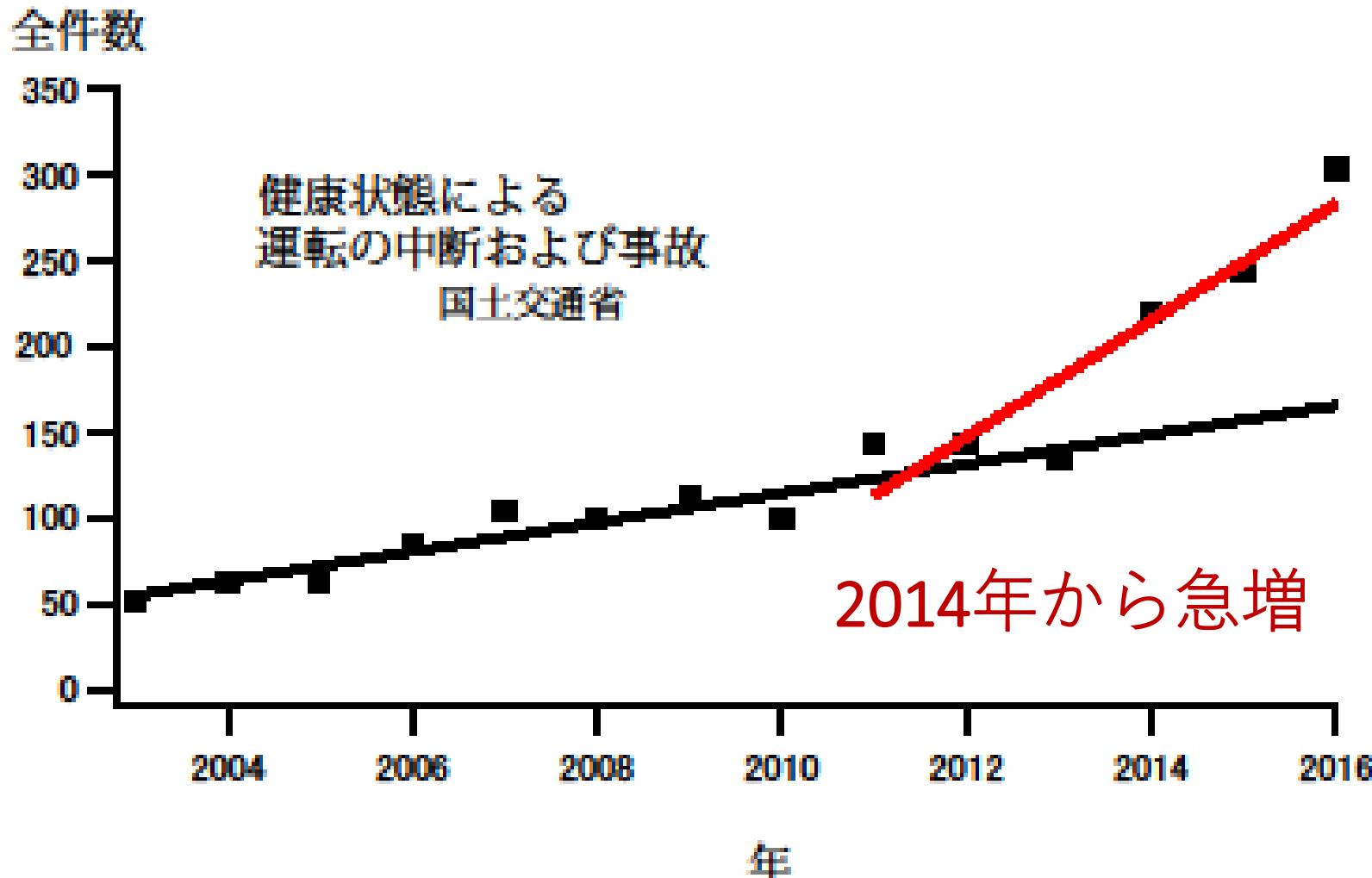




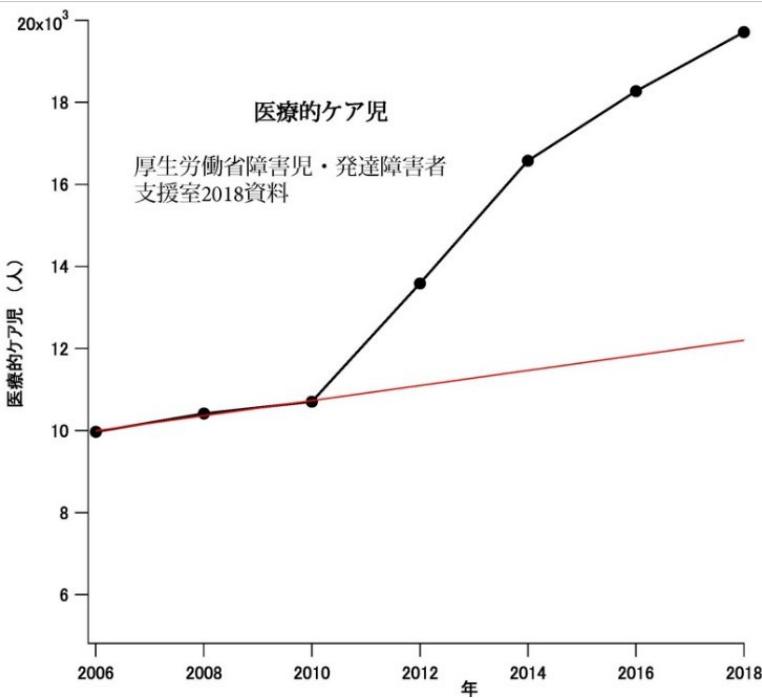
脳血管疾患



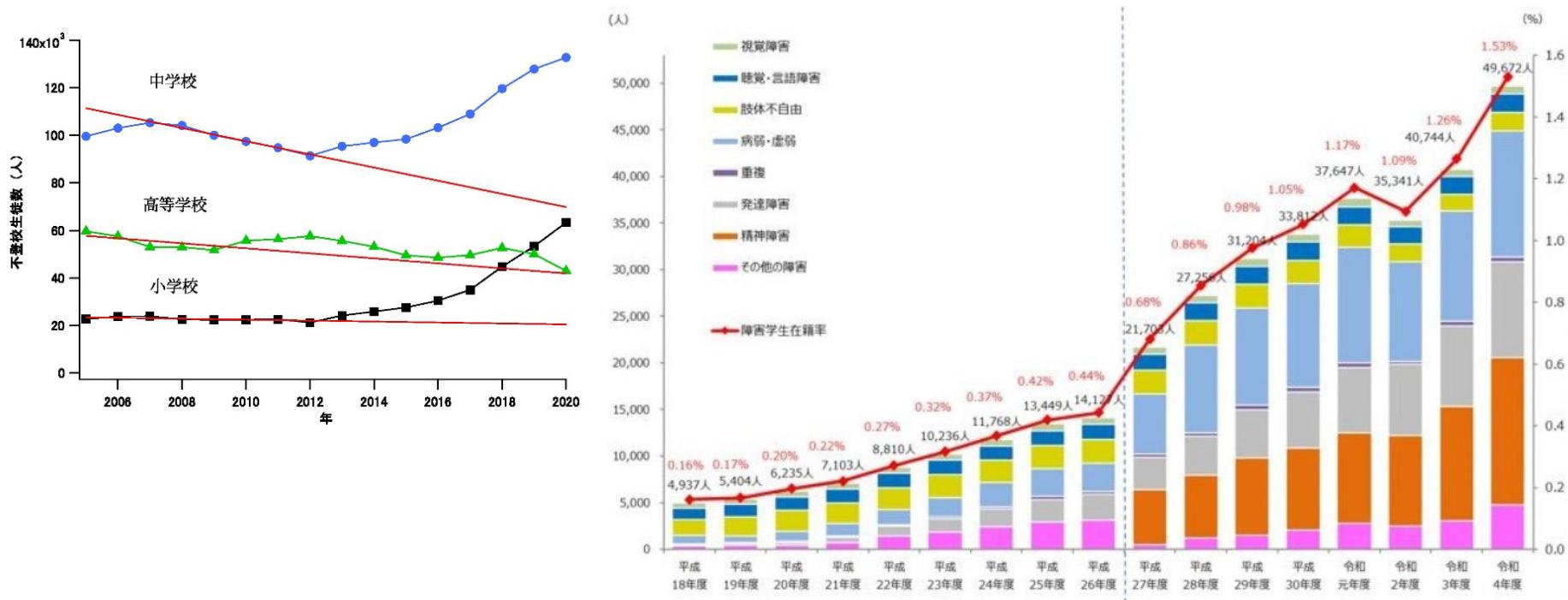
身体に異変が起こっている 運転の中止および事故



子どもへの影響

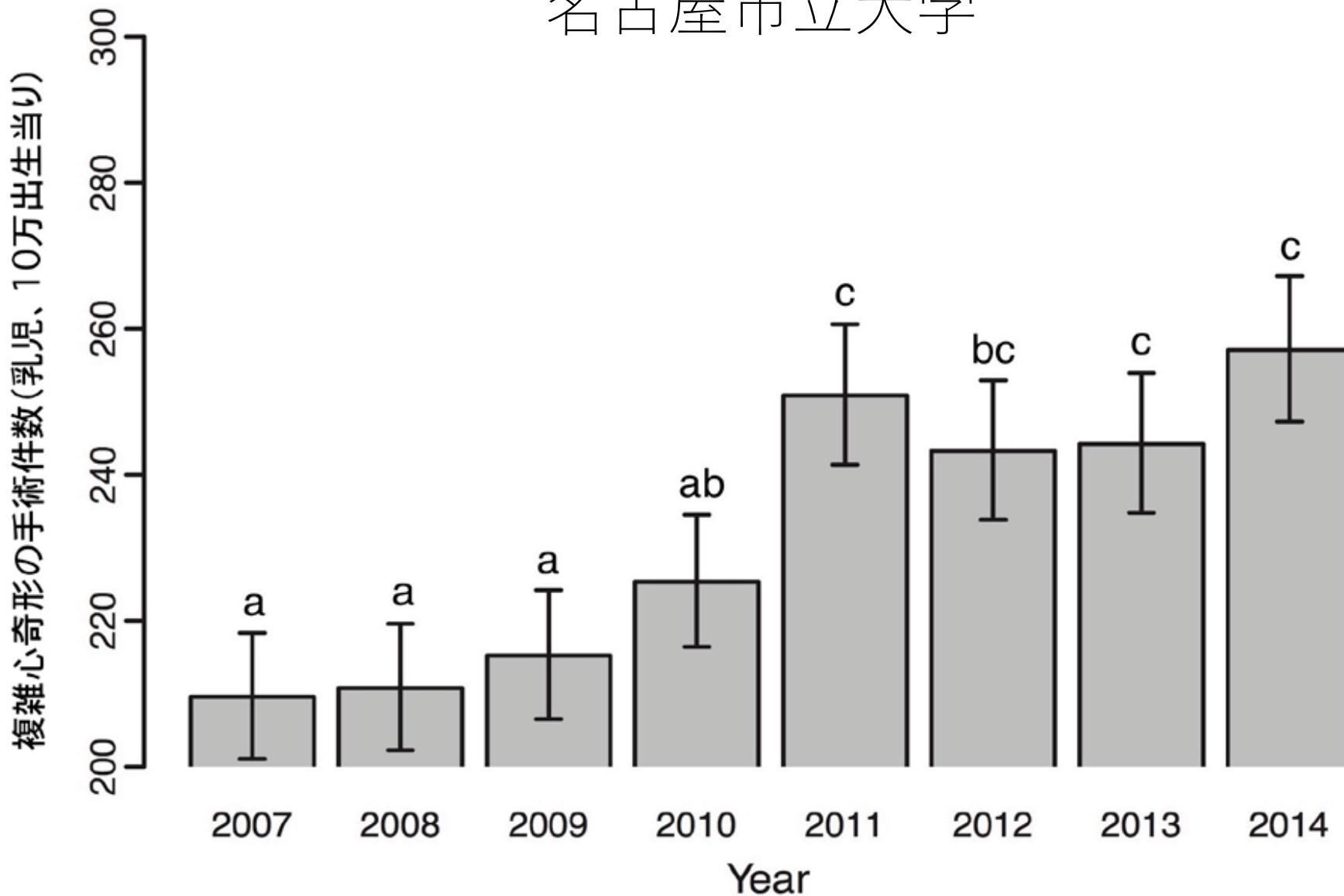


不登校児童/生徒数（文科省） 障害学生在籍数（日本学生支援機構）



先天的「複雑心奇形」の全国的増加

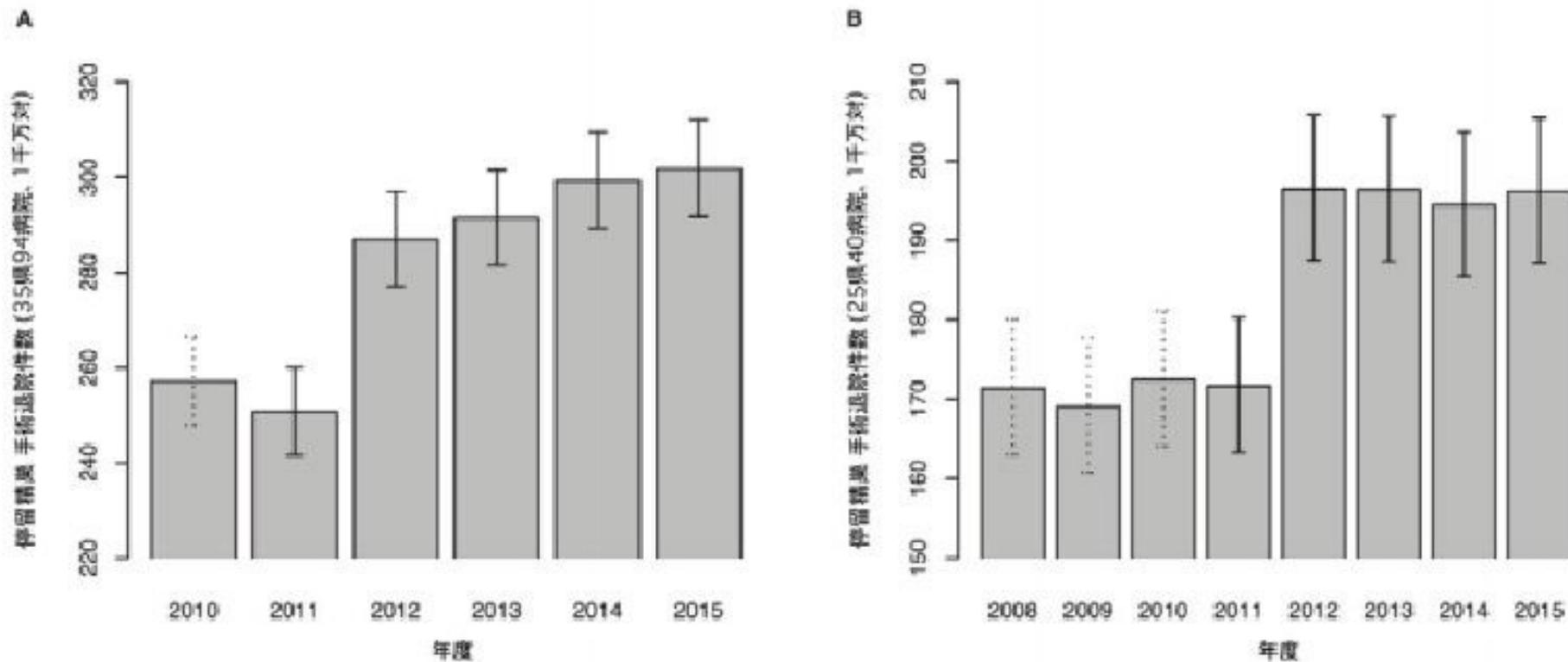
村瀬香ら : Journal of the American Heart Association
名古屋市立大学



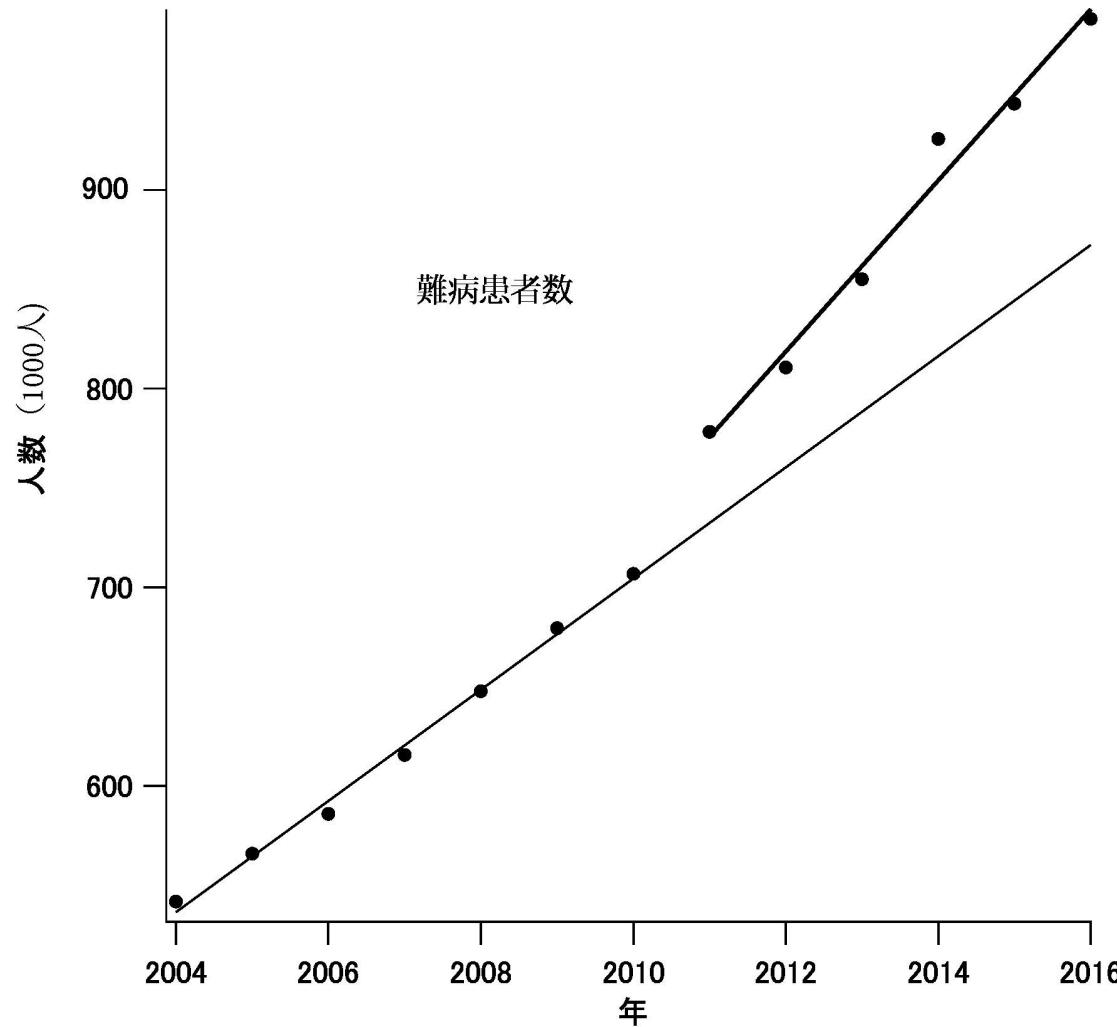
福島原発事故後の停留精巣の 全国的増加

村瀬香らUrology (2018年5月8日掲載)

図2. 停留精巣の手術退院件数の推移 (人口1千万対)

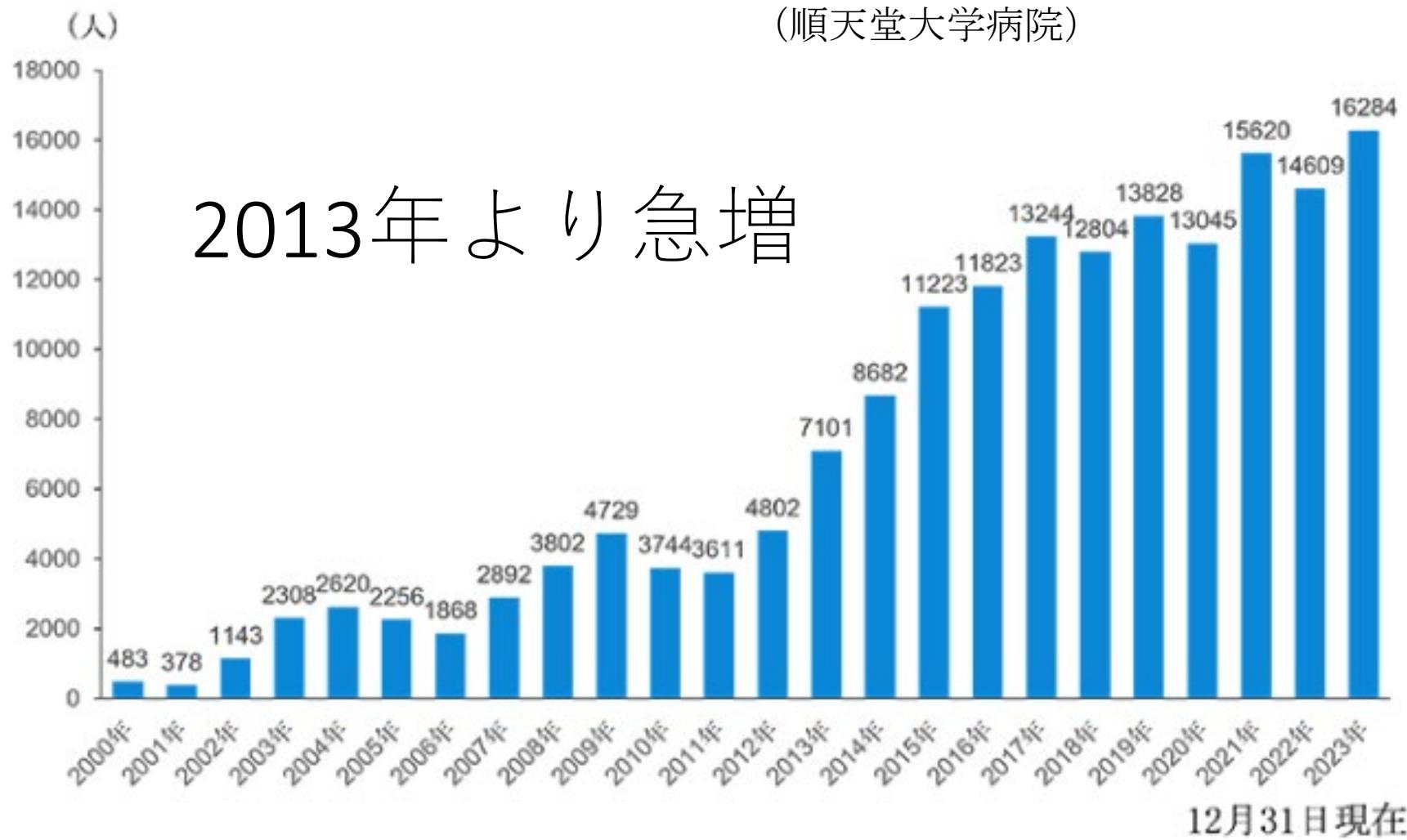


難病患者の突然増

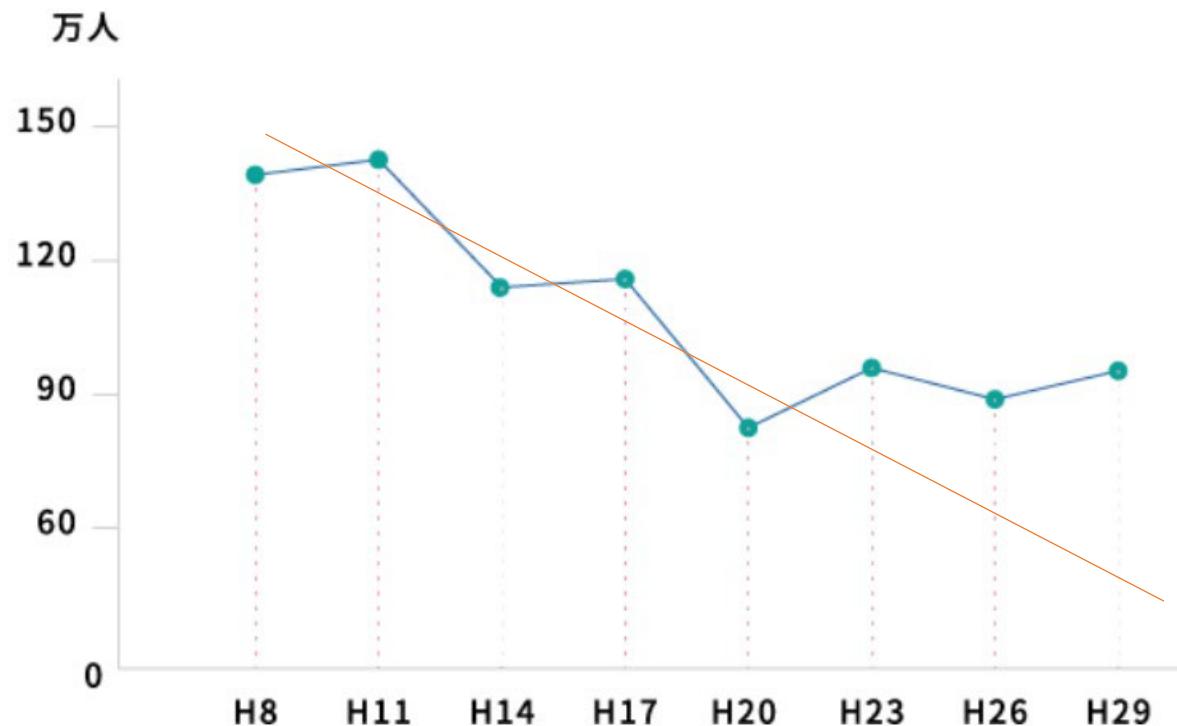


心臓疾患の急増

心臓リハビリテーション総症例数の推移



白内障手術数



行政や医療は どのように市民を守ったか？

行政

法律 (1mSv/年) を守らず **20mSv/年**

高汚染地帯に住民を住み続けさせた ⇒ 防護対策せず

法律 (原子力災害特措法) を守らず

合同対策協議会を設置せず 私的機関をたち上げた

原災避難訓練で実施していた **甲状腺がん防止対策**

安定ヨウ素剤を配布しなかった (根本に被災者の防護無し)

食べて応援 で 内部被曝を強制した (根本に被災者の防護無し)

100Bq/kg 以下は安全、 100mSv以下は安全

風評被害払拭 ⇒ 食料選択の自由を否定した (根本に被災者の防護無し)

医療

放射能被曝による健康災害を否定

笑っていれば放射能は・・

甲状腺がんセカンドオピニオンは遠慮するように

「被曝防護指針」無し ⇒ 診療現場で市民を守らなかった

多くの病院で病院食に「福島米」を指定 内部被曝防護の認識無し

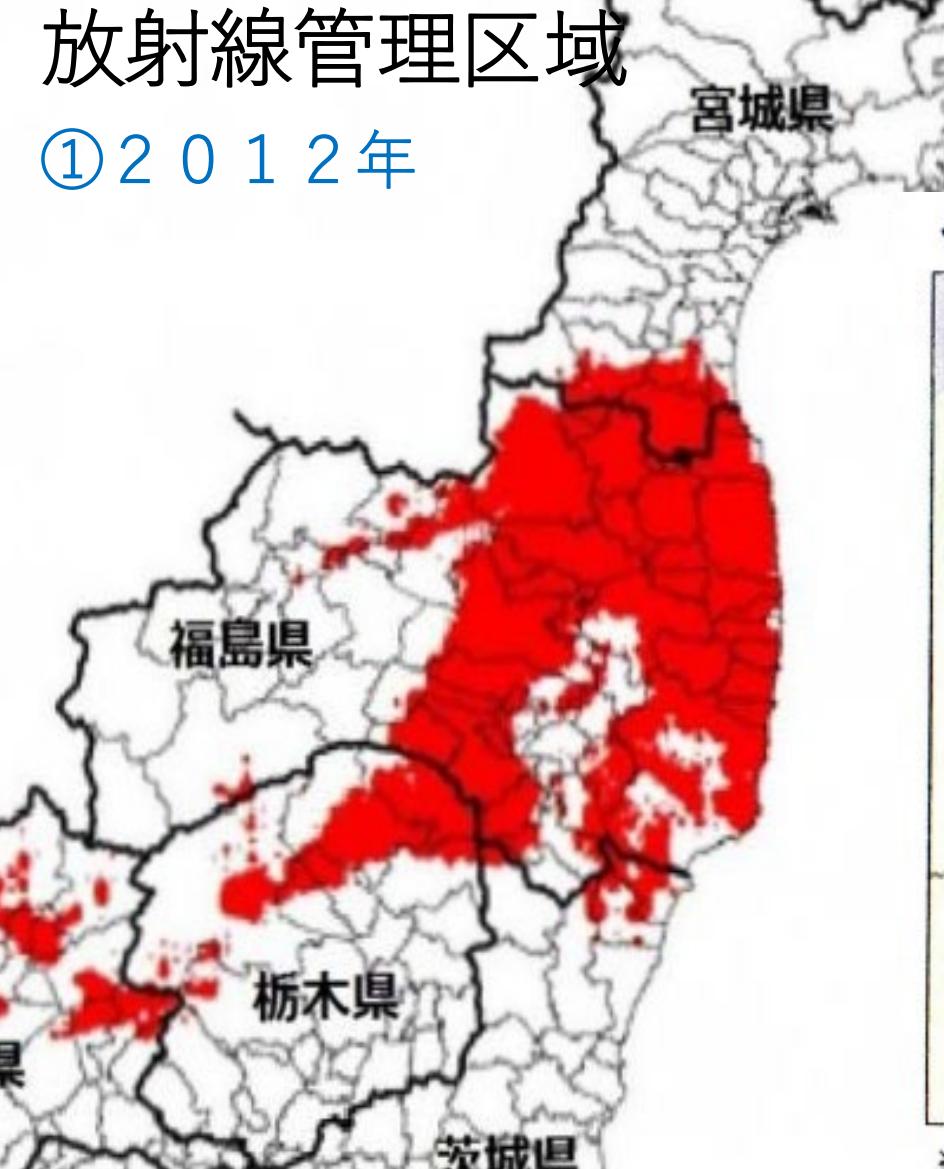
患者に毒を盛る 行為

(根本に被災者の防護無し)

事故後14年
もう安心できるか？

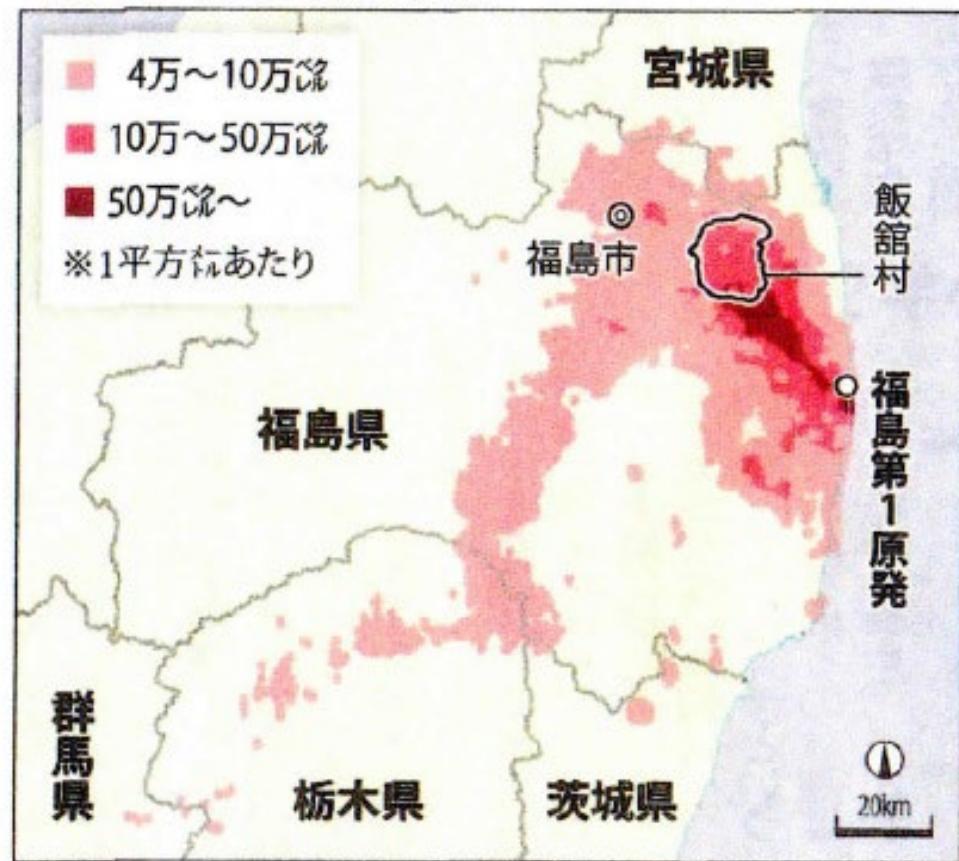
放射線管理区域

① 2012年



② 2022年

セシウム137の分布図



※原子力規制庁のデータを基に今中哲二・京都大複合原子力
員が作成した図を改変、2022年10月時点

放射線管理区域10年で3分の2に
 Chernobyl exclusion zone is narrower than
 チェルノブイリ居住禁止区域より少し狭い ➡ 日本120万人居住

過去最高魚介類汚染

東電原発事故後 6 年 (2017 年) 以降の海産物の汚染に関する報道

① 2017 年 7 月 13 日 クロダイ (Sr : 30Bq/kg)

福島沖 : (東電核種分析結果)

過去最高のストロンチウム 90

② 2019 年 2 月 31 日 コモンカスベ (161Bq/kg) : 毎日新聞

③ 2019 年 9 月 11 日 クロソイ : (101.7Bq/kg) (東電核種分析結果)

クロソイ : (Sr:54 Bq/kg)

過去最高のストロンチウム 90

④ 2021 年 2 月 22 日 クロソイ (500 Bq/kg) : 時事通信

過去最高セシウム 137

⑤ 2022 年 1 月 27 日 クロソイ (1400Bq/kg) 相馬市磯部沖 (毎日新聞)

過去最高セシウム 137

⑥ 2023 年 2 月 7 日 スズキ (85.5Bq/kg) いわき市沖合 (福島放送局)

⑦ 2023 年 4 月 アイナメ (1200Bq/kg)

福島第一原発港湾内 (共同通信)

⑧ 2023 年 6 月 5 日 クロソイ (18000Bq/kg) 福島第一原発港湾内 (東電)

過去最高セシウム 137

⑨ 2023 年 9 月 21 日 玄蕃夷 (430Bq/kg) 福島テレビ

① 食物链汚染

② 継続放出

水質

懸濁物質濃度(SS),
全有機炭素濃度(TOC),
塩分濃度, pH, 水温...

魚の生態的特性

体サイズ, 食性
生息場所...



移行係数

$$= \frac{\text{魚の放射性セシウム濃度 (Bq/kg)}}{\text{水の放射性セシウム濃度 (Bq/L)}}$$

図1. 研究概要 (淡水魚への移行係数と、移行係数に影響を与える要因) .

国立環境研究所
福島支部 環境影響評価研究室
主任研究員 石井弓美子
2022年

淡水魚移行係数
30～25000倍 (福島)
海水魚
100倍 程度

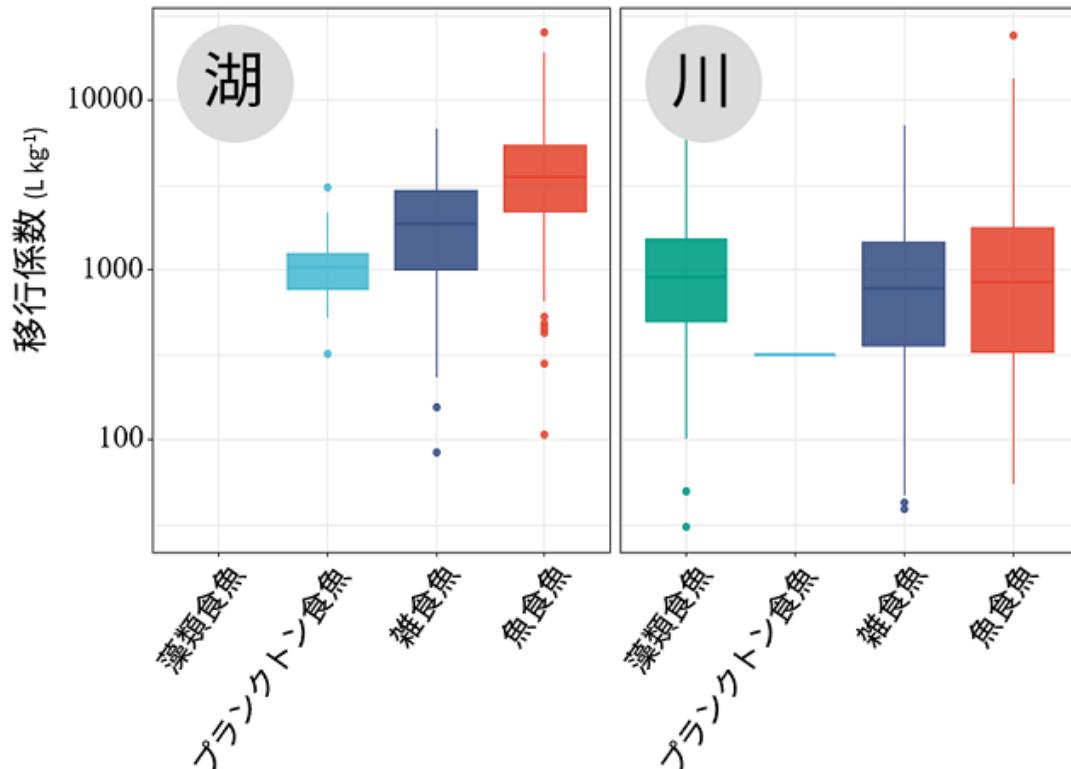


図4. 湖と河川における淡水魚の放射性セシウム移行係数
箱ひげ図の中央の線は中央値、箱の上端と下端は25%点と75%点、ひげの上と下端は5%点と95%点、点は外れ値を表す。

背骨の曲がったイワシ

2018年7月31日 気仙沼漁協水揚げ



魚屋で購入した
8尾
全部が
背骨湾曲
(小野寺晶氏提供)

イワシは
プランクトン食

プランクトンの
放射能汚染の深
刻さ！

放射線防護の
科学と人権
(緑風出版)

2500円 + 税

著者割引で
送料込み

2500円

yagasaki888
@gmail.com

へご連絡を

放射線防護の
科学と人権

矢ヶ崎克馬

国際放射線防護委員会 (ICRP) は
市民に放射線被曝を受忍させ
健康と命を奪い続けている！

緑風出版